

平成20年1月4日

<年頭のあいさつ要旨>

横浜信用金庫 理事長 斎藤 寿臣

(1) 新年おめでとうございます。

昨年の経済をふり返ってみますと、確かに大企業の収益は高くその意味では好景気といえますが、当金庫のお取引先である中小企業にその余波はなかなか及ばず、むしろ原油や原材料等の価格高騰に悩まされている状況でした。今年は中小企業のための施策が展開されることを期待したいものです。

(2) 当金庫の現状をみますと、預金の伸びは約4%と極めて順調です。これは皆さまの努力とお客さまの当金庫に対する高い信頼によるもので大変うれしいことです。

(3) 新年にあたって、次の三点をお願いしたいと思います。

第一は、融資の増強と適正な金利をいただくことです。融資残高の伸びは約1%で預金の伸びにくらべ低調です。主力である製造業の伸びも芳しくありません。ありとあらゆる業種のさまざまな資金需要を発掘する必要があります。融資を伸ばすことに全力をあげてください。

第二は、金融サービスについてです。当金庫はお客さまの金融サービスに関するいろいろな場面でお役にたちたいと考えています。債券、投資信託、保険の販売等の取り扱い、企業についてもM&A、事業承継等のご相談にあずかっています。昨年秋の金融商品取引法の施行によって金融商品の販売にはより一層の厳格な手続が求められることになりました。法令を遵守しながらお客さまの需要に確実に応え、お客さまから金融に関することはまず当金庫に相談するくらいの信用と親しみを築いてください。

第三は、不祥事の防止と正確な事務処理です。金融機関の不祥事が数多く報道されました。当金庫はこのような不祥事とは全く関係ありませんが、これからも正しい生活態度をお願いし、コンプライアンス意識の向上や職場の風通しをよくする等発生予防に努めてください。

事務ミスはお客さまからの信頼にお応えできず、当金庫の信用を傷つけます。金融機関は事務処理が正確なことで定評があります。担当者の慎重な事務処理、役席者の厳重なチェックで事務ミスを防いでください。

(4) 今年も当金庫はお客さま本位の堅実な歩みを続けたいと思います。今年が平穏な年であることを祈り皆さまのご活躍を期待して新年の挨拶といたします。

たしかな明日のお手伝い



神奈川・東京に60店舗